

# 神無月 愛南文芸

## みなみうわ俳句会

遠き日や簡単服という自由  
子が食べて母がひと匙かき氷  
ひまわりの空の青さやウクライナ  
海の日やついに網元なくなりぬ  
西日入る風の流れに逆らわず

## 西海俳句会

笹竹にデイサービスのみんな元氣  
誰が植えし秋草散歩に良い距離に  
秋風や永久に帰れぬ拉致の人  
頁繰る類語辞典の夜は長し  
網廃れ踊りの夜は戻らない

## 檳榔子俳句会

給食のミルク飲みほす終戦日  
子供らはちゃんばらごっこ敗戦忌

木村 智子

濱 初榮

清水 麗子

中川 千代子

竹村 勝利

吉田 笑代

浜木 千ズエ

利根 早智江

吉田 勝也

吉田 弘定

泉 くらら

五島 節子

遠い日の私の舌は桑の色

「大丈夫」の言葉の力雲の峰

空蝉のすがる引戸の朽ちかけて

夕焼の冷めゆく土佐の墨絵めき

赤ん坊抱き夏越の輪を抜ける

人声も音も消え失せ終戦日

雑音の詔勅ラジオ終戦日

饒舌な禽に耳貸す終戦忌

## 内海俳句会

灼く天に勝利のこぶしつき上げぬ

終戦忌古山に眠る戦闘機

小夜更けて音色奏でる虫時雨

幻想の無限を駆けぬ風の秋

吉田 朝子

山口 和子

山口 董

濱野 康子

田中 博子

三好 ミキエ

吉田 モミエ

井上 論天

太田 信子

岩森 十志子

## ▶俳人をご紹介します

さわらび短歌会 藤井擴さん(一本松)

定年退職と同時に帰郷し、かねてから興味があった短歌を習うためこの会に入会。全くの素人であったため通信教育で一年間基礎を習いました。その後は会員の皆さんに教えられ、また歌集や新聞の文芸欄を欠かさず読み、上達に努めています。



晩年の手習いですから思うようにはいきません。既に二十年、今では短歌固有の表現や言葉の選択が分かり始めております。これからも健康なかんずく脳をいたわり、精進するつもりです。

## はじめまして。赤ちゃん。

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※右記8月受け付け分(敬称略)情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。

死亡後の手続きについては町ホームページをご覧ください。



愛南町ホームページ